

## 【資料・詳細】

期間全体で、本線日平均断面交通量は昨年度に比べ約2%の増加となりました。全料金所の出入利用台数は、期間全体では昨年度並みでした。

今年度は期間内に3連休が2回あり、休暇を取ることで最大10日間の休みと日の並びが良く、期間の後半に5連休のあった昨年度と比較して、断面交通量は増加しました。また、ピーク日となった3日(火)は約47,300台の平均断面交通量となりました。

- ① 各路線の日平均断面交通量は下表のとおりとなりました。
- ② 北陸道の断面交通量のピーク日は3日(火)で、上下線合計で約56,400台でした。上り線(米原方面)のピーク日は3日(火)で約27,700台、下り線(新潟方面)のピーク日も3日(火)で約28,700台でした。[昨年度のピーク日は5日(火)で約57,600台、上り線は3日(土)で約29,500台、下り線は3日(日)で約29,000台でした。]

北陸道(木之本IC含まず)の料金所合計出入台数(日平均)は、昨年度の約234,200台に対して約233,200台と約0.5%の減少となりました。

- ③ 東海北陸道の日平均断面交通量のピークは3日(火)で、上下線合計で約20,600台、上り線(岐阜方面)のピーク日は3日(火)で約10,400台、下り線(富山方面)のピーク日も3日(火)で約10,200台でした。[昨年度のピーク日は3日(日)で約21,500台、上り線は3日(日)で約10,800台、下り線は3日(日)で約10,700台でした。]

東海北陸道の南砺スマートIC・福光IC・五箇山ICの3料金所合計出入台数(日平均)は、昨年度の約5,100台に対して約5,600台と約10%の増加となりました。

- ④ 舞鶴若狭道の日平均断面交通量のピークは3日(火)で、上下合計で約16,200台、上り線(舞鶴方面)のピークは3日(火)で約8,100台、下り線(敦賀方面)のピークも3日(火)で約8,100台でした。[昨年度のピーク日は5日(火)で約18,900台、上り線は3日(日)で約9,300台、下り線は5日(火)で約10,200台でした。]

舞鶴若狭道の若狭上中IC・若狭三方IC・若狭美浜ICの3料金所合計出入台数(日平均)は、昨年度の約4,100台に対して約4,200台と約2%の増加となりました。

- ⑤ 通行止めは2回でした。
- 4月28日(木)17:05~21:05(延べ時間4:00)東海北陸道上下線 白川郷IC~五箇山IC間の事故による通行止め。
- 5月3日(火)22:10~翌1:20(延べ時間3:10)北陸道上下線 富山西IC~滑川IC間の横風による通行止め。

[昨年度は通行止めはありませんでした。]

- ⑥ 延長1km以上の渋滞発生回数は5回でした。[昨年度の渋滞発生回数は11回]
- ⑦ 最大渋滞長については、5月3日(火)の北陸道下り線で南条第2トンネル付近を先頭に事故及び交通集中により発生した約13kmでした。[昨年度は5月3日(日)北陸道上り線 今庄トンネル付近を先頭に約8km(原因:交通集中)が最大でした。]

各路線の日平均断面交通量(台/日) ※車両感知器による速報値 百台未満は四捨五入

道路名	昨年度	今年度	今年度/昨年度
北陸道	37,200	37,900	102%
東海北陸道	11,700	12,400	106%
舞鶴若狭道	10,600	10,900	103%
全路線平均	31,000	31,600	102%

主な区間の日平均断面交通量(台/日) ※車両感知器による速報値 百台未満は四捨五入

道路名	区間	昨年度	今年度	昨年比
北陸道	木之本～敦賀JCT	34,800	35,500	102%
北陸道	鯖江～福井	41,700	42,200	101%
北陸道	美川～白山	43,000	43,600	101%
北陸道	小杉～富山西	39,900	41,000	103%
東海北陸道	白川郷～五箇山	11,200	11,900	106%
舞鶴若狭道	若狭三方～若狭美浜	11,100	11,500	104%

主なインターチェンジ料金所の日平均出入利用台数(台/日) ※速報値 百台未満(五箇山、若狭美浜は十台未満)は四捨五入

道路名	IC	昨年度	今年度	昨年比
北陸道	敦賀	14,300	14,300	100%
北陸道	福井	10,600	10,400	98%
北陸道	金沢西	14,500	13,900	96%
北陸道	富山	19,100	18,600	97%
北陸道(能越道)	小矢部東本線料金所	8,700	10,300	118%
東海北陸道	五箇山	1,620	1,860	115%
舞鶴若狭道	若狭美浜	1,880	2,010	107%